



WORLD
FEDERALIST MOVEMENT
OF JAPAN

世界連邦

2019年7月28日

NEWSLETTER 第 654 号

www.wfmjapan.org

発行所 世界連邦運動協会 〒107-0052 東京都港区赤坂7-2-17 赤坂中央マンション303
電話 (03) 6438-9442 FAX (03) 6438-9443 E-mail info@wfmjapan.org [wfmjapan](https://twitter.com/wfmjapan)

購読 郵便振替 00190-6-29964
1部100円(年6回 奇数月28日1回発行)

第35回世界連邦日本大会 東京で開催



5月26日午後1時より第35回世界連邦日本大会が「新しい時代の世界連邦」をテーマに東京市ヶ谷のJICA 地球ひろば国際会議室で開催された。世界連邦推進日本協議会(国内の世界連邦関連団体で構成)による主催で、外務省と文部科学省が後援、約150名が参加した。

今回は東京における世界連邦運動協会の比較的新しくできた3支部(21世紀フォーラム、ユースフォーラム、平和を考えるフォーラム)が実行委員会を組織し、3人の支部長が共同で実行委員長となった。

ユースフォーラム支部長の谷本真邦氏による司会で開会し、まず主催団体・世界連邦推進日本協議会の海部俊樹会長のメッセージを日下部禧代子理事長が代読。講師への期待とともに、「一人ひとりの力は小さくても、多くの力を結集させれば世界を動かすことが可能」とあるというメッセージが伝えられた。

続いて中野寛成会長代行より、次のような趣旨の挨拶があった。

「私は長崎県で生まれ4歳の時、原爆投

下の直前に疎開して助かった。生家は跡かたも無く焼け、多くの親類も亡くなった。母は肝臓ガンでとても苦しんで後に亡くなった。苦しむ人を救いたいと医者になろうと思ったが、色覚検査で断念した。父から『被爆者を治療する医者になれなくても、この原因の戦争や原爆をなくす仕事につけばいいじゃないか』と言われ、小学校一年生の時に政治家になると決めた。今、何



中野 寛成会長代行

とかファーストなどというキャッチフレーズとともに自国第一主義が横行している。自国第一では戦争しかない。今こそ、我々は全ての人々が同じ命を持つものとして尊いのだと声を上げ、自国第一主義の対極に

あるものとして世界連邦を訴えるべきである。」

さらに21世紀フォーラム支部長の木戸寛孝氏より大会趣旨の説明、祝電披露に続き、WFMの共同会長の一人でアルゼンチンの国会議員でもあるフェルナンド・イグレシアス氏の講演が行われた。

イグレシアス氏による講演の概要

私は米州における国連議員総会キャンペーンを担当し、公的に国会の四つの院の支持を得ている。2008年のアルゼンチン議会上院を初めに、同年ラテンアメリカ議会、2009年アルゼンチン下院、2011年メルコスール議会である。また、今日まで122カ国から1,552人の議員の支持を得ている。日本の皆さんの力で日本の国会が国連議員総会キャンペーンの支持決議をすれば素晴らしい。

G20もIMFも世界銀行も民主的基盤がない。アルゼンチンでのG20の際、国会議員によるP20が行われた。このP20を単なるサイドイベントでなく、さらに発展したものにしてほしい。

COPLA(Corte Panel Latino Americana Y Del Carib Contra Crimen Transnational Organizado) についても語りたい。薬物犯罪、贈収賄・マネーロンダリングなどについて国境を越えた犯罪組織が活動している。一方、司法は基本的に 19 世紀型の国家単位のみである。上記犯罪に対応するために、ラテンアメリカ・カリブ地域において国際裁判所を設立するための推進運動組織が COPLA である。ラテンアメリカの人口は世界の 9% にすぎないが、世界の殺人の 3 分の 1 がここで行われている。

今、地域統合が一時的に停滞している



WFM 共同会長 フェルナンド・イグレシアス氏

が、国際犯罪組織対策によりリージョナル・グローバルな「法の支配」を確立することが現状打破への第一歩となる。我々の先駆者は 1947 年スイスのモントルーにおいて「世界法を通じての世界平和」の旗の下に WFM を創設した。パレルモ条約(国際的な組織犯罪の防止に関する国際連合条約)に日本が加わっていることもあり、日本からの協力を期待している。署名・宣言・基金・政治的サポートなどあらゆるものを必要としている。

グローバル化はグローバルな危機を生む。グローバルな危機はグローバルな解決を必要とする。グローバルな解決はグローバルな制度によってのみもたらされる。

科学技術や経済の成長は管理とコントロールを必要とする。グローバル化は天国へのドアも開けるが、気候変動・資源の枯渇・経済危機など、地獄へのドアをも開ける。21 世紀の科学技術や経済は 19 世紀

の制度とは両立できない。グローバルな社会はグローバルな政治的枠組みを必要とする。代表制・民主制をローカルからグローバルなレベルに持ちあげなければならない。

法の支配、民主主義、連邦主義、この三つの価値について、私たちは国家レベルでは躊躇せずに崇高なものとして捉えている。しかし、まだグローバルなレベルではそれらが存在していない。

私たちは国連、EU、ICC など意義深い制度の構築を達成してきた。このステップを完成することにより、将来の災難を避けなければならない。時は来ている。もしも国家主義者・民族主義者が勝利するなら、破壊と野蛮のみの世となるであろう。私たち皆が責任を持ち、これらの困難に向き合うことに私は期待する。

上記講演についての質疑応答が行われ、多くの質問用紙が司会の下に届けられた。ここでは一つだけ紹介する。

Q 東アジアにおいて世界連邦運動を進めていくにはどのようにしたら良いか。

A 我々が南米で運動を進めるにあたり、当初は EEC、EU などヨーロッパのやり方をまね、経済の面から進めようとしてうまくいかなかった。そこで、南米での共通課題となる国際犯罪組織への対策を中心にしたら、うまくいった。それぞれの地域特有の共通課題があるはずで、それを見つけ出し、その課題に絞って進めていくのが良いと思う。

10 分ほどの休憩に続いて、2017 年にノーベル平和賞を受賞した団体 ICAN より国際運営委員の川崎哲氏による講演が行われた。川崎氏はまず上記質疑応答での「それぞれの地域特有の共通課題があるはずで、それを見つけ出し、その課題に絞って進めていくのが良い」という発言に触れ、「東アジアにおける共通課題と言えば、正に核の問題である」と述べ、次のような内容で講演した。

川崎氏による講演の概要

核兵器禁止条約は、前文で核兵器を非

人道的兵器として全面的かつ完全に禁止すること、核廃絶への道筋を定めること、核の被害者への援助に触れていることが特徴である。

核の被害者という点では広島・長崎以外でも、2,000 回以上の核実験が行われ、毎回被爆者が生み出されていることを強調したい。日本では被爆者援護法ができたのに、これも十分なものではないが、他の地域では被害者の特定も数の統計も援助もない。汚染された環境の回復も行わなければならない。

私が所属する団体、ピースボートでは、世界各地で被爆者証言の語り継ぎを行ってきた。非人道性という 4 文字の背景にある生々しい体験を伝えていくのである。

タヒチではフランスによって約 200 回の実験が行われ、現地の人々が知らずに駆り出されて被曝した。オーストラリアではイギリスにより、先住民が事情を知らないままウラン採掘で被曝した。

核兵器禁止条約は、これまで「この国とあそこの国で何発対何発」と国際政治のゲームのように扱われてきた核兵器を「非人道性」という言葉で人間の問題にしたことが重要だ。

ここから、核兵器禁止条約に対するよくある批判を掲げ、そこに反論してみたい。

批判 1: 核兵器禁止条約は保有国との対立を深め、NPT(核不拡散条約)を損ねる。

反論: 核兵器禁止条約は NPT を補強するものである。

そもそも核不拡散というだけでは、五つの国だけが核を保有できるという差別的なものになる。そこで NPT6 条では、保有国も核軍縮することを義務づけている。確かに 80 年代に米ソで 6 万発あった核弾頭はその後減少し続けたが、最近下げ止まった。減少の原動力となったのは INF(中距離弾道ミサイル削減条約)や START(戦略兵器制限条約)であったが、前者は近年廃止され、後者は後 2 年で失効する。この状態で核軍縮を保有国の善意に頼っていて良いのだろうか。

批判 2: 保有国が入らない核兵器禁止条約には実効性がない。



ICAN国際運営委員 川崎 哲氏

反論：核兵器禁止条約は価値を転換し、政治的・経済的・社会的圧力となる。

まず、政治的には、核兵器禁止条約で核兵器が非人道的兵器とされた結果、核の使用が人道に対する兵器とされる可能性が生じた。ICC(国際刑事裁判所)の対象犯罪となる可能性もある。

次に、経済的な面。Don't Bank on the Bomb というプラカードを掲げたキャンペーンも行われ 30 の銀行が核兵器製造企業から投資を引き上げた。日本では「りそな銀行」が昨年責任ある投資の方針を発表し、核兵器製造企業やクラスター爆弾製造企業に投資しないことを宣言した。私たちは他の銀行にも論争を仕掛けることが可能である。

社会的な面では、核兵器禁止条約により、核兵器は「力のシンボル」から「恥のシンボル」となる。かつて核兵器保有国は「5 大国」と呼ばれたが、今後は非人道兵器を持つ国としての評価にさらされる。

ここで宗教の役割がある。11 月にローマ教皇が来日する。全世界に「核は非人道的」というメッセージを伝える好機である。

批判 3：安全保障のため核抑止力が必要である。

反論：核を使えるのか、絶対に使われないと言い切れるのか。

核抑止論というのは、「各国は核兵器で反撃されることを恐れ、戦争を仕掛けることをためらう。核兵器の存在により戦争を防ぐことができる」という考えである。自称リアリストがこのようなことを主張する。

この理論が有効になる前提として、いざという時には核兵器が使えることが必要である。しかし、たとえば朝鮮半島で核が使われたら、放射能は日本にもやってくる。

一時期、核ミサイルに備えて学校で机

の下にもぐる訓練が行われたりしたが、真のリアリストなら机の下にもぐって助かるなどとは考えない。全国に核シェルターを造るというならまだわかる。また、核を使用したら飢饉もやってくる。核兵器は使われたら終わり、核戦争に勝利者はない。これは米ソの指導者が言ったことである。

このように言うと、「いや、抑止のために保有するだけで、実際に使うことはない」という答えが返ってくる。しかし、絶対に使われないと言い切れるのか。

実際に、攻撃を受けたと誤認して核兵器を使用寸前までいったことが何度もある。あるいは、ハッキングによって核が使われる危険性もある。

精神的に不安定な指導者が攻撃を仕掛ける危険性もある。以前ならその命令が伝わるまで時間がかかった。しかし、今はツイッターで攻撃を示唆したことが直ちに目に触れ、それに対して報復が行われる危険性もある。

それでも絶対に使われないというかも知れない。そこまで絶対に使わないならば、なぜ持つのか？

日本政府は自国の安全保障のために核抑止力が必要だと主張する。しかし、北朝鮮も全く同じことを言っている。自分は安全保障のために核抑止力を用いるが、他国が安全保障のために核抑止力を用いることは許さないという、そういう取引は成立するはずがない。

結局、核抑止論の行き着くところは、核兵器だらけの世界である。「核兵器だらけの世界」と「核兵器のない世界」とどちらが安全か、どちらを目指すべきか、答えは明らかである。

銃を持つ人が多いアメリカでは、自己防衛のために銃を持つ。こうして銃だらけの社会になる。「銃だらけのアメリカ」と「基本的に銃を持たない日本」とどちらが安全か。

核保有国に戦争を仕掛けた例はいくらでもある。まして、9.11 に見られるように、自らの命を捨てる覚悟のテロに対しては、核抑止力は全く通じない。

70 年以上日中間で戦争が起きていないのは、核抑止力のおかげではなく、戦争を起こさせないためのさまざまな努力のおかげ

である。

最後に、私は「社会は変えられる」ということを強調したい。

奴隷制が当たり前の時代や女性に参政権がない時代もあった。そのような時代に「それを受け入れろ」と言う人もいたが、声を上げ続けることによって今は制度・法律が変わり、奴隷制がないこと、女性に参政権があることが当たり前の世の中になった。

私が中学生の頃、男性のほとんどがたばこを吸い、ポイ捨ても当たり前のように行われていた。今、たばこを吸う人は減り、ポイ捨てがいけないことだとの認識もでき、分煙なども行われている。たった 30 年で変わったのだ。

公害も経済発展のためにはやむをえないと言われた時代もあった。しかし、今は車一つとってもエコカーでなければ売れない時代になった。

サーロー節子さんは、核兵器禁止条約採択について、「核兵器の終わりの始まりである」と述べた。まず「核は非人道的兵器である」との理念が条約により規範化された。規範ができた後、社会が規範を受けとめていくには時間がかかる。しかし、やがて全人類が「核は非人道的兵器である」ということが当然のこととして受けとめられ、「なぜ昔はこんなことがわからなかったのだろう」と言われる時代になるであろう。

質疑応答が行われ、ここでも多くの質問用紙が司会の下に届けられたが、一つだけ紹介する。

Q 世界連邦運動によるモントルー宣言では、核は世界連邦政府が管理することが謳われたが、これをどう思うか。

A 核廃絶に至る過程で、核兵器が少なくなり、ゼロに近くなった段階では、厳格な国際管理が必要になる。その時に世界連邦のような何らかの国際機関が必要になると思う。

大会宣言案が「平和を考えるフォーラム」支部長の塩浜修氏より発表され、満場一致の拍手で採択された。

世界連邦宣言自治体全国協議会の山崎善也会長(綾部市長)より、「今や一つの国、

一つの町だけでは生きていけない。植物が花だけでは生きられず、根から水を吸い、葉で光合成を行わなければならないのと同様である。どちらかが欠けるわけにいかない『共生』の世の中で世界連邦実現に向けて邁進していきたい。私たちは微力であっても無力ではない」と、閉会の挨拶が

あった。

大会終了後、懇親会が同じ建物内の J's Café にて開催され、交流を深めた。

(塩浜 修)



懇親会にて イグレスias氏と日下部禧代子理事長

国会委員会がイグレスias氏との意見交換会を開催

WFM のフェルナンド・イグレスias 会長が 5 月 26 日の日本大会のため来日した機会をとらえ、5 月 28 日には国会委員会主催によりイグレスias 氏との意見交換会が行われた。国会委員会から衛藤征士郎会長・中川正春事務総長・左藤章常務理事（内閣府副大臣）・森山浩行衆議院議員が参加。また、国会委員会の諮問機関（グローバルガバナンス推進委員会）から長谷川祐弘座長（元国連事務総長特別代表）、外務省から総合外交政策局の長岡寛介大使、アルゼンチン共和国大使館からセサル・カンポイ公使、世界連邦運動協会から犬塚直史国際委員長が参加した。

まず衛藤会長から開催の趣旨説明と出席者の紹介が行われた。また、衛藤

会長は日本で世界連邦の超党派議員連盟が活動していることに触れ、アルゼンチンにも同様の議員連盟をつくってはどうかと提案。イグレスias 氏は「留意する」と答えた。

イグレスias 氏は国連議員総会について説明し、日本からの協力を呼びかけた。中川事務総長は「正しい方向だと思う」と述べ、衛藤会長は今後国会

委員会で協議すると述べた。

長谷川祐弘氏はサンフランシスコ・プロミスにより国連憲章改正は 5 常任理事国の賛成がなくても提案できることを強調した。

この会合は翌日 5 月 29 日の東京新聞で報道された。

(塩浜 修)



第40回世界平和祈願祭

令和元年 6 月 1 日（土）、神戸ポートアイランド北公園の世界連邦『神戸平和の塔』前にて、第 40 回世界平和祈願祭が開催された。平岡五城事務局長の司会で始まり、開会の挨拶を世界連邦神戸婦人の会長代行の志田照代氏がエスぺラント語を混ぜて挨拶。世界平和祈願祭祝詞が生田神社の権宮司によって奏上された。

祭典後、池上徹神戸支部長が車で主権者挨拶をされ、永年継続した意義と今まで一度も雨が降ったことがないことを強調された。井戸敏三兵庫県知事の祝辞は県知事室長の中井敬司氏が代読、久元喜造神戸市長の祝辞は市長室長の山村昭氏が代読された。続いて県会議員の黒田一美氏と市会議員の守屋隆司氏が来賓祝辞、世界連邦本部

事務局長の野田武志氏が就任挨拶と抱負を述べられた。また、世界連邦日本国会委員会長の衛藤征士郎氏の祝辞を谷本真邦氏が代読、国会委員会での活動について話された。

メイピース プリベイル オン アース インターナショナル副理事長の吉川里香氏が初参加の挨拶をされたあと、祝電・メッセージが披露された。当会会長代行の中野寛成氏によるメッセージ「自国第一主義とポピュリズムがはびこり世界の協調と平和が危機に瀕する現代社会にあって究極の平和運動である世界連邦運動の使命と重要性が益々高くなっています」に続き、衆議院議員内閣官房副長官の西村康稔氏、経済産業副大臣の関芳弘氏、参議院議員・議員運営委員長の末松信介氏、同立憲民

主党幹事長の福山哲郎氏、当会京都支部長の品川幹雄氏、同副支部長の山内秀男氏よりメッセージをいただいたことが紹介された。

その後、奉納行事に移り、司会を浅田素美子氏が引き継ぎ進行。最初に兵庫岳風会の相馬岳凛一門による詩吟（出口日出麿氏の「更生の賦」“長島竜に似たり又剣に似たり誰か知る蓬萊神仙の境君臣一家和楽の國宇内何れの辺にか匹儔有らむや”、朗詠：故湯川秀樹博士の「まがつびよふたたびここにくるなかれ平和を祈る人のみぞこは」、故小塩完次氏の「ゆるぎなき平和の象徴ここに建つポートアイランド北の広場に」）、次にエスぺラント語のコーラス『祈り』、兵庫県芸術協会代表の中嶋将晴氏によるテノールの唄とアルペンホ

ルンの演奏が披露された。

続くフラッグセレモニーでは、WPPS 甲陽園グループによって 193 ヶ国の国旗が並べられ、その内 15 ヶ国と、日本、福島県、熊本県、兵庫県、神戸市、世界連邦の旗が代表者によって掲揚された。

最後に、『世界連邦の歌』を森田伸二氏指揮「かみのと・コーラス」の先導によって全員で合唱した。閉会の挨拶で

は、平岡事務局長が「この地に『神戸平和の塔』を建てられた、先達・先輩たちの思いを引き継ぎ、兵庫県、神戸市が議会宣言されたことを深く受け止め、少しでも発展させていただきたいと切に願ひ、皆様とご一緒に神戸の地から平和の扉“神の戸”を開こうではありませんか！」と力強く締め括った。そして“風船”が全員によって大空高く放され、舞い上がる風船を見上げなが

ら閉会した。

大卒神戸本苑の皆様へ会場の清掃、受付、案内、警備等の裏方奉仕をしていただき、また各支部より過分のご祝儀・玉串料を頂戴し、まことに有り難うございました。

(世界連邦運動協会神戸支部事務局長
平岡 五城)

世界連邦ユースフォーラムが国連NY本部でSDGs推進会議を開催

世界連邦ユースフォーラムが、6 月 6 日国連本部にて、SDGs 推進会議 2019 (2019 Forum for Implementation of the SDGs) を開催した。これは前年に続き、Friends of the United Nations Asia-Pacific(FOUNAP) 会長アンワルルチョードリ元国連事務次長からの要請によるものである。United Nations Office of Partnership(UNOP) との共催、外務省・国連政府代表部の後援もいただいた。

会議に先立ち、国連日本政府代表部に別所浩郎特命全権大使を表敬訪問。訪問のメンバーは以下の通りである。元国連事務総長特別代表の長谷川祐弘氏 (国会委員会諮問機関グローバルガバナンス推進委員会座長)、東京農大教授の川嶋舟氏 (皇嗣殿下義弟)、世界連邦日本宗教委員会事務総長の田中朋清氏、静岡市長代理の赤堀文宣氏 (静岡市政策官)、世界連邦ユースフォーラム代表の谷本真邦氏、同事務局員の佐伯真唯子氏。一行は日本の SDGs の取り組みなどを国連で報告する旨を別所氏に伝えた。

その後開催された会議は、日本の諸アクター (政府、地方自治体、企業、NGO) が SDGs 取り組みを国連機関の代表者に発表するというのがメインで

ある。チョードリ会長が議長となり開会を宣言。最初に、特別ゲストである長谷川祐弘氏 (元国連事務総長特別代表) のスピーチから始まった。氏は、「徳川慶喜が大政奉還をして権力を手放すことをきっかけに 260 の主権国家 (藩) が主権を手放し、廃藩置県が行われ、これで日本の危機を救ったという歴史は、現代の国際政治のヒントになる。またそこには篤姫、和宮という女性の力もあった」と切り出してから、話題として SDG16 (平和構築等) に SDG5 (ジェンダーのエンパワーメント等) を加え、さらには女性と安全保障を関係させた安保理決議 1325 も絡めて話をされた。次に政府から、国連大使の星野俊也氏が「現在政府は、9 月の国連総会における初の首脳級ハイレベル政治フォーラムに向けてレビューを行っている。ここでわかることは、SDGs 達成において重要なのは、中央政府のみではなく、地方自治体、市民の参加です」と述べた。ついでロバートスキナー UNOP 事務局長が「SDGs の良い所はその包摂性にあり、まさにこの部屋は諸アクターが集まる包摂的な所である。この日本の真剣な取り組みを世界に広めなければいけない」と述べた。その後、SDGs 未来都市に選

ばれている静岡県静岡市・福井県鯖江市や、SDGs に取り組む企業代表者、文化界から前述の田中氏・川嶋氏らが「日本の伝統文化と持続可能性」について発表した。これらの話を受け、国連諸機関の代表者らは、平和構築、ジェンダー、環境、健康などの分野で「こうした機会の重要性」を認識し、「お互いから学び対話を続けよう」と話し合った。

翌日は、国連フィールドオペレーションの責任者アトゥール・カレ事務次長、中満泉国連軍縮上級代表、その他国連幹部らと、次々に長谷川座長と谷本代表が会見し、それぞれの専門分野で国連の未来と改革、グローバルガバナンス推進委員会などについて語りあった。その後は、国連邦人職員会副会長の田頭麻樹子氏や、シニアプログラムオフィサーの伊東孝一氏の尽力で国連邦人職員会主催「長谷川祐弘先生を囲む会」をオーガナイズしていただいた。これは、長谷川座長の NY 渡航の話が広まるにつけ、谷本代表に対して面談要望が多くあったため、多くの日本人職員向けに長谷川座長の講演会という形で国連のキャリアと未来についてお話しすることになったものである。

このように非常にタイトなスケジュールで、国連本部での SDGs 推進会議と関連会談を行なった。昨年も書いたが、SDGs は人間が生きること、環境に関わること、平和に関わることであり、そうしたことの積み重ねが世界連邦実現への道に繋がるのであり、諸アクターと一緒に、さらに取り組みを進めて行きたいと考えている。

(谷本 真邦)

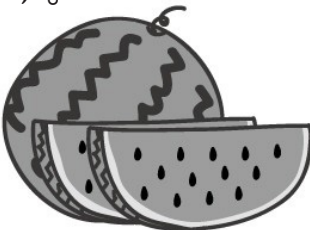


残暑お見舞い申し上げます。

今後とも世界連邦運動をよろしく願ひいたします。

令和元年 盛夏

世界連邦・北海道 代表 荻野忠則 副代表 日色無人 事務局長 松藤日出男 次長 窪田 一		NPO法人 神戸平和研究所 理事長 杣 浩二		世界連邦運動協会町田支部 支部長 小塩 玄也 町田市玉川学園八一九一八一〇六 松香光夫方		世界連邦近畿協議会 会 長 三宅 光雄 事務局長 高畦 孝一 事務局 大阪市大正区三軒家西三一八一二十		副会長・理事長 日下部 禧代子		世界連邦推進日本協議会会長 世界連邦運動協会会長 第76・77代内閣総理大臣 海部 俊樹			
世界連邦運動協会広島支部 本部副会長・支部長 城 忠彰 理事長 神川 正紀 副理事長 河本 浩一 副支部長 藤井 正一 副支部長・事務局長 森下 峯子				世界連邦運動協会神戸支部 支部長 池上 徹		京都・大阪府支部 支部長 税所 凉子 当支部では、今年も引き続き世界の恒久平和を築くために、大阪府内の小学校において、一人ひとりがこれからの世界平和について考える「出前・平和学習」を実施してまいります。 次世代を担う子どもたちのために！							
世界連邦近畿フォーラム 世界連邦日本国会委員会 世界連邦日本国会委員会が一九四九年十二月に創設されて七十年目を迎えました。 政府が世界連邦実現に向けて最大限の努力をするよう、国内外の同志の皆さんとともに働きかけて参ります。		世界連邦実現に向けて 歩み続けましょう！ 世界連邦運動協会石川県連合会 名誉会長 杉山 栄太郎 会長代行 桑原 豊 副会長 上山 桂樹 理事長 平口 哲夫										世界連邦21世紀フォーラム支部 理事長 木戸 寛孝 副理事長 松田 創 事務局 柴田 修	

世界連邦運動協会 四国ブロック協議会 愛媛県 松山市部 愛媛県 新居浜支部 高知県 高知支部 徳島県 徳島支部 香川県 香川支部	世界連邦運動協会富士宮支部 支部長 杉浦 健一 世界連邦加古川支部長 鹿多 証道 世界連邦本部・国際副理事長 人類共栄会会長 三宅 光雄	いま、一つの世界を 世界連邦宣言自治体全国協議会 会長 綾部市長 山崎 善也 綾部世界連邦運動協会 会長 鹿子木 旦夫 世界連邦運動協会 豊中支部 支部長 星野 慎一 世界連邦運動協会執行理事 WFM国際理事 犬塚 直史 有限会社 日本教育マネジメント 代表取締役 宮崎 太 世界連邦運動協会 武蔵野支部 支部長 榎本 重夫	大阪愛善会支部 支部長 伊藤 忠茂 商売繁盛・縁結び・合格祈願 千代保稲荷神社 〒503-0321 岐阜県海津市三郷1980 海津市営バス海津羽鳥線 お千代保稲荷前バス停下車 バッグ・メダル・カップ・トロフィー・桶・旗・記念品 株式会社アキバ徽章販売 TEL 03-5491-5786 世界連邦日本仏教徒協議会 会長 叡南 寛範 理事長 可兒 光永 事務総長 水谷 栄寛 http://www.serenbutu.jp/	世界連邦日本宗教委員会 会長代行 中野 寛成 クリニック・医院の開業を支援します メディカルリンク株式会社 代表取締役 福井 温彦 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里6-59-6 ハウス6596-202 TEL 03-5604-2083 http://www.medicalink.co.jp/ 司法書士・税理士 黒澤 合同事務所 東京都中野区中野四丁目四番十一号 電話 03-3388-9638	まだしばらくは厳しい暑さが続きます。 皆様のご健勝とご自愛をお祈り申し上げます。 
--	---	---	---	---	---

第 48 回世界連邦推進全国小・中学生 ポスター・作文コンクール募集要綱

主催：世界連邦運動協会
後援：文部科学省(予定)・世界連邦宣言自治体全国協議会

◇目的

次代を担う小中学生に平和の尊さと人類の一員としての意識を深めさせ“人間みな家族”“世界はひとつ”の精神を培い、世界連邦について理解を深め、平和教育に資することを目的とします。

◇概要

1. 世界連邦運動協会の支部・支部連合会・各宣言自治体を単位とした地区ごとに募集します。また、インターネットを通して全国の小中学生によびかけます。
2. それぞれの地区で審査し、展示会を開催し優秀作品の表彰を行います。
3. 優秀作品は、中央でさらに審査、展示、表彰されます。
4. 応募作品は原則として返却しません。応募する前にポスターのデジカメ写真や、作文をコピーするなど各自保管して下さい。著作権は主催団体に属します。

◇応募作品の規定

〔ポスター〕 大きさ B3版(364mm×515mm)もしくは四つ切り
画用紙サイズ(392mm×542mm)
ポスターカラー、水彩、クレヨン、はり絵、ソフトペン、その他画材自由

〔作文〕 小学校児童 400字詰原稿用紙2枚以内(厳守)
中学生生徒 400字詰原稿用紙4枚以内(厳守)
※作文は薄くて読みづらい原稿は審査できませんので、濃い鉛筆で記入するよう
ご指導ください。

〔明記する事項〕 制作年(○年○月・第48回)
応募単位(個人・学校・支部・その他)
生徒氏名(ふりがな必須)、性別、学年
学校名(○○市立等詳しく)、住所、TEL

◇募集期間

2019年7月1日～9月30日
(地区の事情により若干変更されます)

◇展 示

地区表彰式・展示 2019年10月～12月
全国表彰式・展示 2020年2月予定

◇表 彰

地区表彰
入 賞 (ポスター・作文とも)若干名(全国審査該当)
佳 作 (ポスター・作文とも)若干名

全国表彰

文部科学大臣賞(ポスター・作文とも)各1名
特 賞 (ポスター・作文とも)各3名
湯川スミ賞 (ポスター・作文とも)各1名
入 賞 (ポスター・作文とも)各7名
佳 作 (ポスター・作文とも)各5名程度

〔問合せ先〕 世界連邦運動協会

E-mail : takeshi.noda@wfmjapan.com

〒107-0052

東京都港区赤坂7-2-17赤坂中央マンション303

電話：03-6438-9442 FAX：03-6438-9442

http://www.wfmjapan.org/

本部と支部の主な動き

*は本部・支部主催ではないが、世界連邦運動協会が加盟している団体の主催

6月23日 グローバル連帯税フォーラム総会*
6月25日 G20 大阪市民サミット*
6月27日 三鷹支部総会
7月12日 G20 大阪サミット & 国連気候変動ボン会議合同報告会*
7月19日 執行理事会

7月23日 グローバルガバナンス推進委員会・国連改革分科会
7月24日 青梅支部総会
7月24日 連帯税シンポジウム*
8月14日～20日 中東和平プロジェクト
8月23日 世界連邦宣言自治体全国協議会総会

編集後記

☆日本が初めて議長国を務める主要20ヶ国・地域首脳会議(G20サミット)が6月に開催されたが、自国中心主義が広がる中で大した成果を得られず、あらためてグローバルガバナンスを強化できる政治機構の必要性を痛感しました。(野田) ☆5月20日、27日、29日と連続的に世界連邦のことが東京新聞に掲載された。まとめ方も良く、満足な内容だ。国会決議の時さえ、メディアにほとんど取り上げられなかったことを考えると感激である。(塩浜) ☆このたびの参議院選挙で当選なさった方々におかれましては、ぜひ世界連邦国会委員会にご入会願います。(平口) ☆これから暑い季節を迎えます。体調を崩さぬようご自愛ください。(川口)

編集委員会 / 委員長：野田武志 副委員長：塩浜修・平口哲夫・川口美貴 委員：荻野忠則・村上智規・谷本真邦

あなたも世界連邦運動協会の会員になって一緒に活動してみませんか

入会希望の方は、郵送かFAXまたはEメールにて、住所・氏名・電話番号・メールアドレスを本部事務局へお知らせください。またEメールでお申し込みの場合は、件名に『入会申し込み』と明記してお送りください。

普通会員年額5,000円 維持会員年額10,000円 賛助会員年額15,000円



WORLD
FEDERALIST MOVEMENT
OF JAPAN

世界連邦運動協会 本部事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂7-2-17 赤坂中央マンション303

電話 (03) 6438-9442 FAX (03) 6438-9443

E-mail info@wfmjapan.org